



2018-2019年度 R1テーマ
インスピレーションになろう

FUJIEDA ROTARY CLUB
藤枝ロータリークラブ会報

例 会：毎週水曜日 小杉苑
藤枝市青木2-35-30 TEL:054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL:054-647-2300
FAX:054-647-2040
E-mail: club1972@fujieda-rotary.org

会長:島村 武慶 副会長:大塚 高弘 幹事:玉木 潤一郎 副幹事:平和則

♪ソング… 我らが藤枝ロータリー

♪ソングリーダー… 江崎 晴城君

第2254回
通常例会/小杉苑

■ 会長報告

島村 武慶君

朝夕の気温が大分低くなり、インフルエンザの予防接種に一番相応しい時期となりました。どうやら 12 月初旬に一番多く



の方が予防接種を行うとの事です。皆様も予防等々体調管理にご自愛ください。会長報告からですが、今週水曜日に臨時静岡第 4 グループの会長幹事会がありました。議題は IM の登録の件です。旧第 5 分区と第 6 分区に登録の温度差が発生してガバナー事務局が急遽招集をかけた事案です。初めて第 4 グループとしての IM ですので、調整が必要でした。何とか藤枝開催の IM は従来通りの感覚で開催出来そうですが、来年以降は物議を醸し出しそうです。予算面でも慎重に協議願いたいです。

この 1 週間は色々なニュース（日産自動車ゴーン会長の役員報酬不正申告等）が聞こえてきましたが、私が一番興味を持ったニュースは 2025 年の大阪万博の開催決定の朗報です。開催地として立候補していたのは、大阪のほか、アゼルバイジャンのバクーとロシアのエカテリンブルク。フランスのパリが途中で立候補から離脱したのは大阪にとっては好ましく、欧州諸国は日本に好意的だった。しかし、アゼルバイジャンはオイルマネーにものを言わせてし、ロシアも中国とのタッグでアフリカ諸国を固めて三つ巴の戦いとなっており、予断は許さなかった。最終的に大阪に決まったのは、大阪府と大阪市の歴史上かつてない緊密な連携関係に加えて、国や財界の後押しがあったからこそ。まさにオールジャパンの勝利だったと言っていいだろう。

1964 年に五輪を開催した東京は、56 年後の

2020 年に再び五輪を開く。そして 1970 年に万博を開催した大阪は、55 年後の 2025 年の万博を開くという、日本の 2 大都市による国際社会への再アピールの機会と言えるだろう。どれほどの効果が期待できるのか、という批判的な声もあるが、大阪の都市開発は 1970 年の万博が起爆剤になっている。特に都市交通網の整備が著しかった。今、大阪市の西側には広大な未開発地区がある。ユニバーサル・スタジオ・ジャパン (USJ) の少し西にある人工島の夢洲 (ゆめしま) がそれだ。面積 3.9 平方キロメートルのほとんどが更地である。東京の臨海副都心 (お台場) が 4.4 平方キロメートルなのでほぼ同規模だ。夢洲はもともとバブル期の乱開発があったため、大阪の「負の遺産」ともいわれる。大阪市民が訪れることも少なく、忘れ去られた存在だ。だが、鉄道ができれば大阪駅から 30 分の至近距離。2014 年当時、橋下徹大阪市長と松井一郎大阪府知事が提唱し始めた。同時に統合型リゾート (IR) の候補地としても夢洲を推している。さて、これまでの万博誘致コストは、国、大阪府・市、民間団体合わせても 30 億円程度であった。対して、開催された場合の経済効果は 2 兆円といわれており、まったく効率的な先行投資だった。これまで夢洲などに投じてサンクコスト (埋没費用) と化していた 1 兆円が「意味のあった投資」に変わる可能性も十分考えられるし、私はきっとお台場と同じ様に夢洲も再開発発展を成し遂げると思う。

そして前回の大阪万博は、1970 年 3 月 15 日から 9 月 13 日までの 183 日間開催され、入場者数は 6421 万 8770 人、1 日の最大入場者数 83 万 5832 人と凄まじい入場者数であったが、以下の概要で行われる今度の万博にも大きな期待をし、7 年後が大変楽しみだ。

2025 日本万国博覧会（大阪・関西）の概要

開催期間 2025年5月3日～11月3日
(185日間)

- ・開催場所 大阪 夢洲（ゆめしま）
- ・テーマ いのち輝く未来社会のデザイン
- ・サブテーマ 多様で心身ともに健康な生き方
持続可能な社会・経済システム
- ・入場者想定 約2,800万人

■ 幹事報告

玉木 潤一郎君

- ・国際ロータリー第2620地区ロータリー財団事務所様より
ロータリー情報冊子の御案内が届きました。
- ・藤枝順心高校中学校・高等学校様より
全国大会場支援についてお礼の手紙が届きました。

■ 出席報告

渡辺 篤司君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
30/41 73.17%	37/41 90.24%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

- 石垣君 ○鈴木邦君 ○増田君 ○松葉義君
○村松英君 ○山田君 青島鉄君 大杉君
落合君 鈴木舜君 仲田晃君

(2)メイクアップ者

- 石垣 善康君(掛川G) 青島 鉄男君(榛南)
村松 英昭君(掛川G) 石間 慶昭君(冠講座11/27)
山田 賀昭君(掛川G) 増田 貴行君(冠講座11/27)

■ ゲスト

県立藤枝東高校校長 長井 利樹様

■ スマイルBOX

渡辺 篤司君

- ・誕生日祝いはじめていただきました。お菓子おいしくいただきました。ありがとうございました。 石間 慶昭君

スマイル累計額 36,000円

■ 外部卓話



県立藤枝東高校
校長 長井 利樹様

藤枝東高等学校 長井利樹校長をお招きして『これからの高校教育と人材育成』の内容で卓話いただきました。

高校教育を取り巻く話題(課題)として高大接続改革(大学入試改革)と学習指導要領の改訂が行われる。しかし、大学入試改革は現高校1年から、学習指導要領改定は現中学2年生から行われることになっている。本来学習指導要領改定された年代が新しい大学入試に向かい合う事が理想の形だが順番が逆になっていることが当面の課題。また、成人年齢の引き下げなども話題(課題)となっている。

新教育要領では学力の3要素(①知識・技能②思考力・判断力・表現力③主体性を持って多様な人々と共同して学ぶ態度)を求められ藤枝RCとの連携なども今後お願いしたい。

日本の人口ピラミッドは承知の通りだが、他国と比較をしてみると対策の取れている国もあり、また、都道府県比較、県内市町村比較などを行うと、静岡県とりわけ藤枝市の人口流出が顕著であり、現実的に、藤枝東・焼津中央・島田・藤枝西高校の進学率を見ても60%以上が県外への進学で大きな課題と言える。

これからの人材育成・求められる人材として思考力、判断力、表現力、発信力などが求められる為、他者と協議し経験の無い問題・課題にも対処できるようにしていく事が必要だが、それ以前に指導者育成が大切であり、長井校長先生自身、注力している。

ニュースや新聞で見聞きした程度では把握できなかった、今後の教育改革について知ることが出来、地域社会の一員として理解すること、協力しあう必要性を感じさせられました。

(石川 茂樹)

《11～12月の事務局開局日時》



月	火	水	木	金
11/26	27	28	29	30
10:00～ 16:00	閉局	9:30～ 17:00	10:00～ 16:00	閉局
12/3	4	5	6	7
閉局	10:00～ 16:00	9:30～ 17:00	10:00～ 16:00	閉局
10	11	12	13	14
13:00～ 17:00	閉局	9:30～ 17:00	14:00～ 17:00	閉局
17	18	19	20	21
10:00～ 16:00	閉局	10:00～ 17:00	10:00～ 16:00	閉局
24	25	26	27	28
閉局	10:00～ 16:00	閉局	閉局	閉局

★冠講座

<開講日>

平成30年11月27日(火)

<講義内容>

「土地家屋調査士とは」

<担当者>

土地家屋調査士

増田貴行事務所代表 増田 貴行君

※ 開局日時は変更になる場合があります。
最新の情報は、ホームページでご確認ください。



(担当/河森君)